

市民と野党の共闘で政治を変えよう。憲法、くらし、平和を大切にする新政をつくる

都民がつくる革新新政

多くの歴史的選挙戦になつたことを強調。市民と野党の共闘の実現にむけたフラットな共同を働きかけた呼びかけ人会議のとりくみの

2020年定期総会は、市民と野党の共闘の大好きな広がりのなかでたかわれた7月の都知事選を総括し、さらなる都民運動と共闘の発展で都政転換をめざす2021年方針の決定と新役員の選出などをおこない、あらたなスタートを切りました。

総会は、佐久間千絵代表世話人、木下雅英代表世話人の司会で進行。今井真代代表世話人が開会挨拶し、顧問の吉田万三氏が紹介され、来賓挨拶と都議会報記者が、ともに都知事選挙をたかつた宇都宮健児さん、永出利和さん、原紀子日本共産党都議からおこなわれました。

総会議案である都知事選総括と次期都知事選へ向けての方針案を中山伸事務局長が提案。

今回の都知事選を東京における市民と野党の共闘の実現を都政転換の基本方針としてとりくむことで、あたらしい政治へのうねりをつくる歴史的選挙戦になつたことを強調。市民と野党の共闘の実現にむけたフラットな共同を働きかけた呼びかけ人会議のとりくみの

「あなたの声を届けるプロジェクト」にとりくみ、青年の変化を実感した。三多摩連絡会・窪田一忠さん候補者決定を都民参加でどうすすめていくかが課題。学習活動をやつしていくことが大事だ。

2020年総会特集



7月都知事選挙総括と都政転換を展望

11月4日、エテュカス東京で2020年定期総会が開催されました。総会には7月の都知事選挙を都知事候補としてたかつた宇都宮健児さん、市民と野党の共闘の呼びかけ人永山利和さんが来賓として駆けつけ、「都知事選挙総括と活動方針」及び決算予算、新役員体制を決定しました。

なかで、衆院25小選挙区すべてで共闘が実現したことを報告。また、革新新政をつくめる会として都政パンフの普及と対話活動、若手グループのSN活動など総力をあげて選挙戦をたたかいい、次につながるたたかいことなつたことを紹介。いつもおこなつた都知事選に向けた都民要求実現都政転換をめざす活動方針を提案しました。総会は7名の討論をつけ、全議案を満場の拍手で採決。長谷川代表世話人がさらなる前進を訴え、団結がんばろうを唱和し終了しました。

発言
議案と報告に対して7名が発言。今井真代表世話人が開会挨拶し、顧問の吉田万三氏が紹介され、来賓挨拶と都議会報記者が、ともに都知事選挙をたかつた宇都宮健児さん、永出利和さん、原紀子日本共産党都議からおこなわれました。

総会議案である都知事選総括と次期都知事選へ向けての方針案を中山伸事務局長が提案。

今回の都知事選を東京における市民と野党の共闘の実現を都政転換の基本方針としてとりくむことで、あたらしい政治へのうねりをつくる歴史的選挙戦になつたことを強調。市民と野党の共闘の実現にむけたフラットな共同を働きかけた呼びかけ人会議のとりくみの

なかで、衆院25小選挙区すべてで共闘が実現したことを報告。また、革新新政をつくめる会として都政パンフの普及と対話活動、若手グループのSN活動など総力をあげて選挙戦をたたかいい、次につながるたたかいことなつたことを紹介。いつもおこなつた都知事選に向けた都民要求実現都政転換をめざす活動方針を提案しました。総会は7名の討論をつけ、全議案を満場の拍手で採決。長谷川代表世話人がさらなる前進を訴え、団結がんばろうを唱和し終了しました。

発言
コロナ渦の選挙となり、テレビ討論は1回もやられなかったなど問題の多い選挙だったが、コロナ対策、独法化道路、羽田問題などを訴えることができ、また、市民と野党の協力共闘がひろがり、大きな根柢がなくなるなど大きな成果になつた。選挙で掲げた政策課題の実現のためにたたかうのが責務。つくる会のみなさんと一緒に頑張りたい。

発言
永山利和さん挨拶(要旨)
浜原千絵さん、五十嵐仁さんともう一人の訴えに共感がひろがつた。民青同賛東京都委員会・新田さん、「あなたの声を届けるプロジェクト」にとりくみ、青年の変化を実感した。三多摩連絡会・窪田一忠さん候補者決定を都民参加でどうすすめていくかが課題。学習活動をやつしていくことが大事だ。

都教組・尾賀弘美さん
コロナ渦で子どもたちは学ぶ場を奪われた。都教組は子どもと教育を守る要素で選挙をたかつた品川の会・佐藤盛雄さん

羽田空港低空飛行問題で住民投票にとりくんでいる。区長選でも市民と野党の共闘がすすんだ。全国道路問題連絡会長舟橋雄さん

外かく環状道路の陥没問題や特定整備路線などで市民と野党の共定整備路線などで市民と野党の共同がひろがっている。

宇都宮健児さん挨拶(要旨)
コロナ渦の選挙となり、テレビ討論は1回もやられなかったなど問題の多い選挙だったが、コロナ対策、独法化道路、羽田問題などを訴えることができ、また、市民と野党の協力共闘がひろがり、大きな根柢がなくなるなど大きな成果になつた。選挙で掲げた政策課題の実現のためにたたかうのが責務。つくる会のみなさんと一緒に頑張りたい。

発言
西坂昌美(東京民主医療機関連合会)
長谷川清(東京商工団体連合会)
佐藤盛雄(革新新政をつくる品川の会)
佐久間千絵(新日本婦人の会東京都本部)
田辺良彦(日本共産党東京都委員会)

発言
今井真(東京民主医療機関連合会)
木下雅英(東京都教職員組合)
黒岩哲彦(自由法曹団東京支部)
新田裕哉(日本民主青年同盟東京都委員会)

新役員紹介	新田裕哉(日本民主青年同盟東京都委員会)	長谷川清(東京商工団体連合会)	矢吹義則(東京自治体労働組合総連合)	中山伸(事務局長・東京都教職員組合)	木原秀子(東京母親連絡会)	畠田重夫・吉田万三・小池晃
《代表世話人》	新田裕哉(日本民主青年同盟東京都委員会)	長谷川清(東京商工団体連合会)	矢吹義則(東京自治体労働組合総連合)	中山伸(事務局長・東京都教職員組合)	木原秀子(東京母親連絡会)	畠田重夫・吉田万三・小池晃
武美智(東京地方労働組合評議会)	井澤亮(東京民主医療機関連合会)	今井勝治(東京都生活と健康を守る会連合会)	木下雅英(東京都教職員組合)	黒岩哲彦(自由法曹団東京支部)	佐久間千絵(新日本婦人の会東京都本部)	田辺良彦(日本共産党東京都委員会)
《顧問》	新田裕哉(日本民主青年同盟東京都委員会)	長谷川清(東京商工団体連合会)	矢吹義則(東京自治体労働組合総連合)	中山伸(事務局長・東京都教職員組合)	木原秀子(東京母親連絡会)	畠田重夫・吉田万三・小池晃

空き家

▼スガ首相が学術会議の会員に大名の学者の任命拒否したのは、スガ首相が学術会議の会員に云つものだから、云々は云ふほど離れて云つものだから、云々は云ふほど見えた風景など記憶をどつて私たがいおいていたのにひらきに反対したからです。なぜこの会員が異接しているのだけれどそれを認めないであれこれに反対したからです。それがあの時もアベ首相や昭恵夫人がおおいに関係あります。それがアベ政治の終わりの始まりになった森友士地払い下げよりも学術会議拒否のほうが、より深刻で本質的な問題なのだ。学問・表現・言論・信教の自由にかかるところではやくも六七〇もの団体が抗議声明を出している。▼いくらスガ首相がアベ政治を継承するといつても継承の仕方が露骨すぎるといふものだ。木

都議会第4回定期例会

開会前宣伝行動	11月27日(金)17:00~ 新宿駅西口予定
開会	11月30日(月)~ 閉会 12月16日(水)予定



市民と野党の

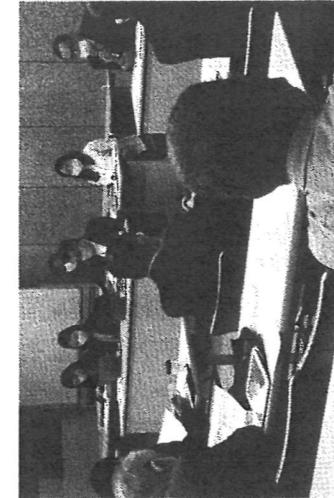
共闘を
たたかって新型コロナ対策、少人数学級、国保・介護など
都民連が14分野334項目の対都民要請

都民生活要求大行動実行委員会事務局・東京地評・東京社保協は、10月30日金終日、東京都第2本庁舎・2庁ホールを会場に要請行動を実施し、22組織から延べ225人が参加しました。東京都からは11の知事部局・行政委員会が対応しました。

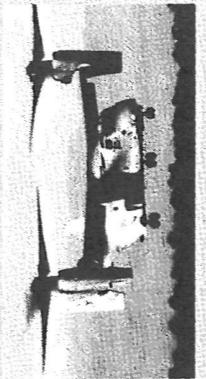
この日の要請行動は同実行委員会が7月31日に提出した2021年度東京都予算要望書(14分野334項目)に対する東京都からの回答(9月30日)を受けて、再質問・再要請する目的で実施したものでした。

新型コロナなど
切実な課題への対応を求める

要請は主催者を代表して東京地評の尾代眞事務局次長が挨拶をおこない、医療・介護・障害者福祉・保健労働者の処遇改善・国民健康保険制度・都民住宅・生活保護・教育・平和・スポーツ振興・まちづくり・産業行政・印刷業・危機運営・産業・中高齢者の雇用・労働行政一般など各分野ごとに要請・懇談をおこされました。



- | 主な要求項目 | |
|---|--|
| ○新規都立病院・公社病院地方独立行 | ○新型コロナウイルスの感染症対策 |
| ○保育の質が確保された認可保育所による待機児解消 | ○介護職員が働きづけられるよう東京都独自の補助制度の創設 |
| ○国民健康保険の国庫支出金の大幅引き上げの要請。都として国保料(税)軽減のとりくみ | ○障害者が地域で安心して暮らせる福祉制度の充実 |
| ○年内公立小中学校全学年での30人以下学級の実現 | ○都内公立小中学校全学年での300人以下学級の実現 |
| ○毎年200戸以上の新規都営住宅の建設 | ○すべての公契約に適応する公契約条例の制定 |
| ○都内で働く労働者の最低賃金を今すぐ「1500円以上」とするルールやガイドラインの設定 | ○都内労働者の最低賃金を今すぐ「1500円以上」とするルールやガイドラインの設定 |
| ○地域防災計画の抜本的見直し | ○地域防災計画の抜本的見直し |
| ○外かく環状道路・特定整備路線の中止 | ○外かく環状道路・特定整備路線の中止 |
| ○横田基地への米空軍特殊部隊CV22オスプレイの配備撤回 | ○横田基地への米空軍特殊部隊CV22オスプレイの配備撤回 |

横田基地にオスプレイはいらない
11・22 東京大集会を成功させよう!

2018年、米空軍の特殊作戦機CV22が米軍横田基地に配備されました。CV22は、戦争でまっさきに敵地に乗り込み暗殺や拉致することを任務とする軍用機で、横田基地では米軍下訓練が多く行われています。みんなでオスプレイはいらない。横田基地を返せの声をあげました。

日時：11月22日(日)
午後1時開会～2時30分
会場：福生市・多摩川中央公園
(JR青梅線牛浜駅徒歩12分)
プログラム：国会報告、青年による”基地トーク”シンポジウム
主催：オスプレイ反対東京連絡会

一検証二
新政の後
事その26回
連載第26回

石原都政14年③
“福祉は贊沢”
財政再建推進プランの推進

何が贊沢かといえば、まず福祉知事就任わずか3ヶ月後の7月。石原知事はこう言い放つとともに、前任の青島知事が提案したもののが、都民世論の強い反対と都民運動で撤回に追い込まれた財政健全化計画を挙げます。この中止をして、あらたな「財政再建推進プラン」を策定・発表しました。

同プランは都財政が危機的状況にあるとして、その矛先を福祉や教育などの都民施策に向け、すべての施策及び実施体制について、(財)施策の再構築を行っていく。

特に一般財源の充当額の大きい事業について重視的に見直しを図る。

今後、すべての施策について、事業の存続を含め根本的な見直しを行い、必要な再構築を行っていく。

経常経費を平成15年度までに一般財源ベースで(同)11年度予算額の20%削減することを目標に経費の圧縮を取り組むことを表明。

一般財源の充当額の大きい事業としてあげられた都民施策は、シルバーパス交付、老人・障害者の医療費助成、老人福祉手当、公私格差是正事業など都独自の民間社会福祉施設への補助事業、私学助成、中小企業融資制度、区市町村への補助事業など、「財政健全化計画」で打ちだされたものにくわえ、あらたに障害者の福祉手当、共同作業所への補助、保健所・保育室への補助、児童育成手当、区市町村の国民健康保険事業と国保組合への補助金・交付金などがくわえられ、革新都政が都民とともに築きあげてきた都民施策を根こそぎにしちょうどいうものでした。

石原都政はその後、福祉施策の新たな展開「危機突破戦略アラン」などの都民攻撃のプランを矢継ぎ早に策定し、都民施策を根こそぎにしました。

卯月はじめ

石原都知事が知事就任後策定したプラン(1999年～2000年)	都民施策の「存続を含めた根本的な見直し」
財政再建推進プラン	都民施策の「存続を含めた根本的な見直し」
福祉施策のあだらかな展開	革新都政が築いた全国に跨る福祉施策の切り替え
危機突破戦略プラン	経済的給付事業からの撤退
危機突破戦略2000	小さな行政の実現
東京構想2000	都と民間、区市町村との役割分担
都行改革アクションプラン	措置制度の転換、株式会社などの参入
都政改革推進プラン	措置制度の見直しなどで50億円(同)、合計150億円(同)を